



連携事例3

R5.8 更新

間伐材の活用による福祉貢献事業

～ 関わる全ての人が笑顔になる仕組み ～

ちば
コラボ大賞
受賞事例



協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地縁
-----	----	----	----	----

事業運営団体

NPO 法人ちばMDエコネット

協働パートナー

- ☆株式会社ソーケン製作所
- ☆スマイル (NPO法人LEED)
- ☆石陶房 (NPO法人カムトゥルー)
- ☆パステル (社会福祉法人一路会)
- ☆りすたあと (一般社団法人る一む)
- ☆ひなたぼっこ (NPO 法人ちばMDエコネット)

事業の手法

☆委託・事業協力

事業費

☆20万円

事業概要

①里山における間伐材の放置②福祉事業所の賃金の低さ③児童養護施設における改修工事の必要性という3つの課題に対し、「関わる全ての人が笑顔になる仕組み」をテーマに、企業が間伐材を有効利用した商品作りを福祉事業所へ一部委託し、商品販売により得た売上を児童養護施設等の改修工事等に充てる活動を行っています。

協働までの経緯

木材を扱う企業である株式会社ソーケン製作所は、里山に放置された間伐材による環境問題に対応するため、間伐材の利用促進に取り組み始める中で、併せて地域にも貢献出来る活動を行いたいと考えていました。

そこで、自分たちに何が出来るかを模索するため、近隣の福祉事業所や児童養護施設を訪れ、見学や現場の方のお話を聞くことから始めたところ、福祉事業所の賃金の低さと児童養護施設における改修工事の必要性という大きな課題が見えてきました。

そこで、これらの課題に間伐材の放置問題を加えた3つの課題を解決する今回の事業のシステムを考案するとともに、県内の福祉事業所との窓口となる団体と連携を図るため、千葉県で実施していたNPOと企業のマッチングを行うパートナーシップ事業に参加したところ、同じ東葛地域で障害者支援を行っており「福祉事業所全体の仕事数を増やしたい」と考えていたNPO法人ちばMDエコネットと、双方のニーズが合致したため、協働で事業を実施していくこととなりました。

また、福祉事業所と連携を図っていく際には、ちばMDエコネットに加え、NPO法人千葉県障害者就労事業振興支援センターなどにも協力を依頼したことで、4箇所の福祉事業所と連携して活動を開始しました。

その後、イオンチアーズクラブの間伐材バッジを製作する作業が定期的に入るようになり、事業を継続しています。

主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①ソーケン製作所が間伐材商品の発注受付
 - ・バッチ (12月に材料が届き、2月に納品)
 - ・間伐材のテーブルや額縁等 (随時受付)
- ②福祉事業所を対象に商品や作業方法についての説明会
- ③商品作成、納品
- ④収益の一部を児童養護施設や被災地等へ寄付

● 主な協働パートナーとの役割分担

- 【NPO】間伐材商品の作成（ちばMDエコネットは企業と各福祉事業所との連絡調整）
- 【企業】間伐材商品の発注受付・販路開拓、各福祉事業所への説明会の実施、収益の一部を児童養護施設や東北の被災地へ寄付
- 【福祉事業所】間伐材商品の作成



間伐材によるパッチや額縁など、様々な商品を作成します！



● 協働事業によって生まれた成果

- 間伐材の利用促進に加え、作業所の賃金の向上や児童養護施設の改修工事の実施など、それぞれの団体が抱えていた課題の解決が図れました。
- NPOと企業との協働により、双方とも協働に対する視野が広がりました。
- 広く県内の福祉事業所とのネットワークを持つNPOが企業と福祉事業所の間に入っていることで、企業の活動がスムーズに受け入れられ事業を広げることができました。
- 企業の中で障害者の理解が更に進むとともに、NPOとしては企業の仕事の進め方が参考になり、お互いに相乗効果が生まれました。

● 今後力を入れていきたいこと

- 現在、定期的なスケジュールで行う仕事が少ないため、今後は依頼があった仕事をこなすだけでなく、オリジナル商品の作成によるビジネスモデルの確立を検討しています。



額縁作成の様子

♡ コラボのコツ!!

★企業と福祉事業所の繋ぎ役をNPOが担うことで事業を円滑に進行

★作業方法について各作業所へ説明する場を設ける等、各団体が顔を合わせることを意識

企業と福祉事業所という立場の異なる団体間の繋ぎ役を担える団体がいることで、事業を円滑に実施していくことが出来ます。

福祉事業所へ作業を依頼する際には、各作業所の方を集め、作成する商品や作業方法の説明の場を設ける等、やることは決まっても全員が集まる機会を作ることで、意識や目的を共有しながら活動を行えます。



間伐材パッチ

協働事例プロフィール

【活動開始年】平成9年（法人化：平成11年10月29日）

【活動のPR手法】<http://mdeconet.jp/>

【この事業で活用した補助金】

①千葉県：人権啓発事業（H25・26・27・28・29・30・R1・2・3・4） ②船橋市：心身障害者福祉事業所運営費補助金（H23～） ※そのほか、企業等からの助成金多

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】

①千葉県：ちばコラボ大賞（H25）

②NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センター：「はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2012」奨励賞

③公益社団法人子ども環境学会：子ども環境学会賞「子ども環境活動賞（活動奨励賞）」（H20）

④日本計画行政学会：「計画賞（優秀賞）」（H14）

【問い合わせ先】 担当者：山本佳美 電話番号：047-426-8825 メールアドレス：sun@mdeconet.jp